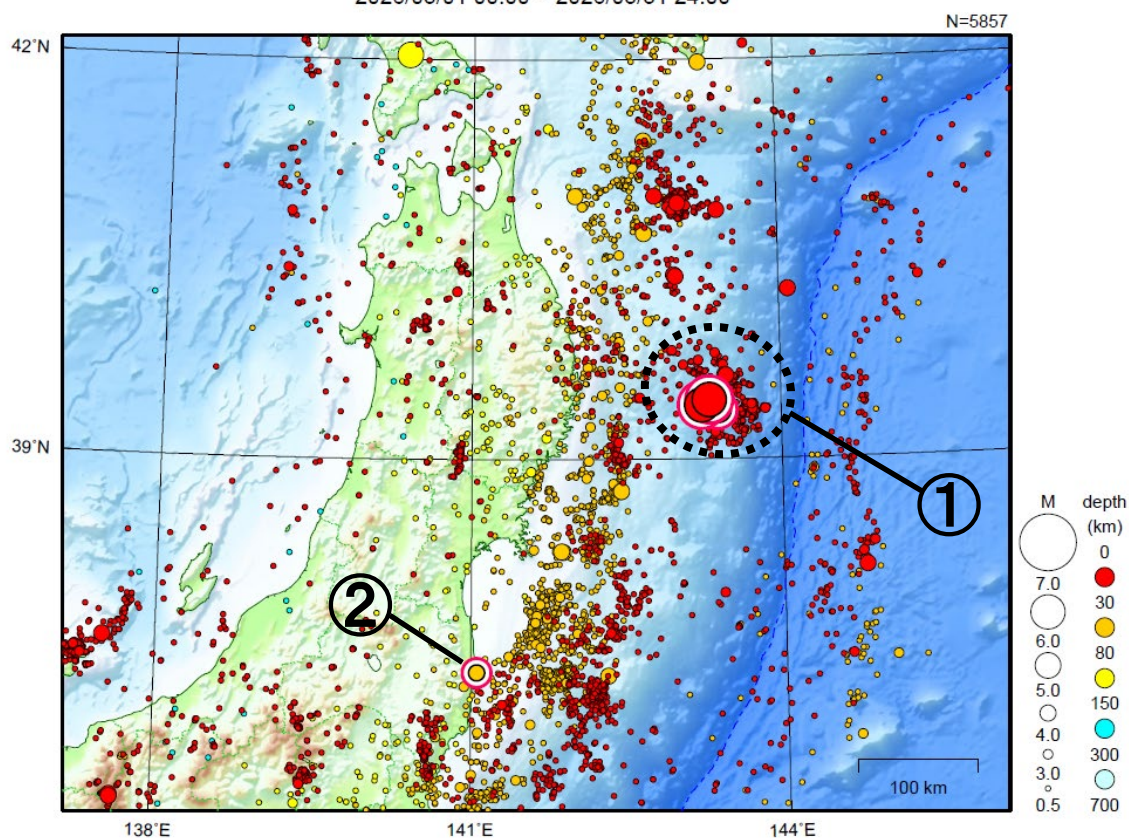


# 東北地方

2026/03/01 00:00 ~ 2026/03/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 三陸沖では 3 月 8 日 22 時 08 分に M5.6 の地震(最大震度 3)、3 月 8 日 22 時 17 分に M6.1 の地震(最大震度 3)、3 月 14 日に M5.2 の地震(最大震度 3)及び 3 月 26 日に M6.7 の地震(最大震度 4)が発生した。3 月中に震度 1 以上を観測する地震が 12 回 (震度 4 : 1 回、震度 3 : 3 回、震度 2 : 1 回、震度 1 : 7 回) 発生した。
- ② 3 月 10 日に福島県沖で M4.7 の地震(最大震度 4)が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

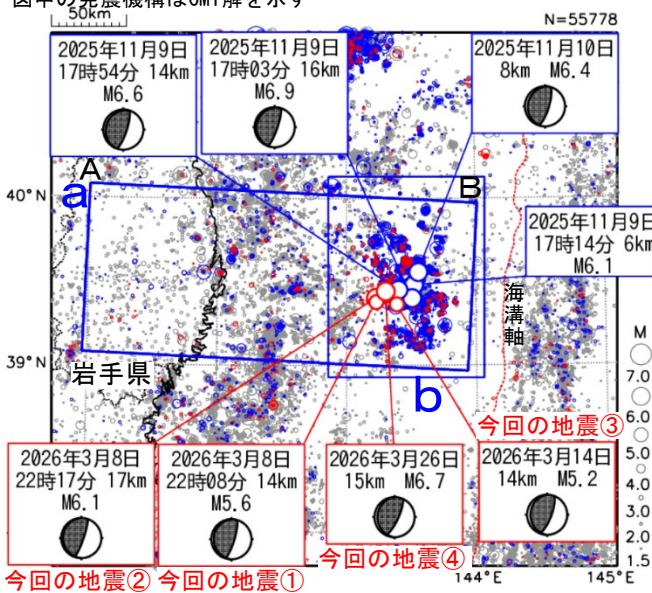
# 3月8日、14日、26日 三陸沖の地震

(2025年11月からの三陸沖の地震活動)

## 震央分布図

(2020年9月1日～2026年3月31日、  
深さ0～140km、M $\geq$ 1.5)

○2020年9月1日～2025年10月31日  
●2025年11月1日～2026年2月28日 ●2026年3月1日以降  
図中の発震機構はCMT解を示す



2026年3月8日22時08分に三陸沖の深さ14kmでM5.6の地震(最大震度3、図中①)が発生した。また、同日22時17分にはほぼ同じ場所の深さ17kmでM6.1の地震(最大震度3、図中②)が発生した。

さらに、3月14日04時55分にこれらの地震の近傍でM5.2の地震(深さ14km、最大震度3、図中③)が発生した。

その後、3月26日23時18分にこれらの地震の近傍でM6.7の地震(深さ15km、最大震度4、図中④)が発生した。

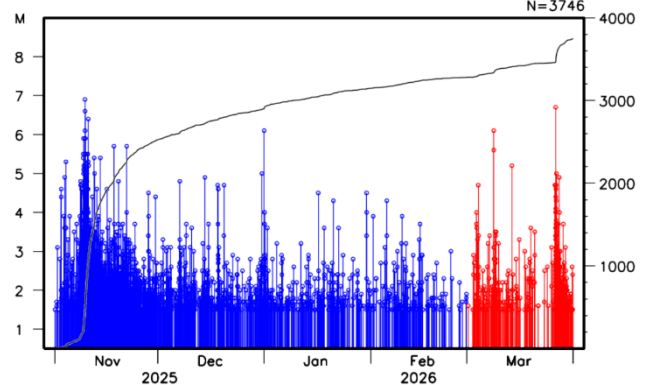
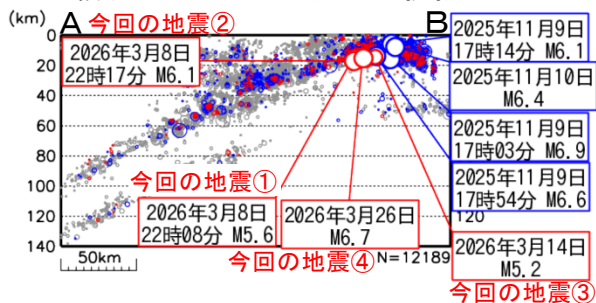
これらの地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

今回の地震の震央付近(領域b)では、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、11月9日にM6.9の地震(最大震度4)が発生して以降地震活動が継続している。領域bでは、3月1日から31日にかけて震度1以上を観測する地震が12回(震度4:1回、震度3:3回、震度2:1回、震度1:7回)発生した。

## 領域b内のM-T図及び回数積算図

(2025年11月1日～2026年3月31日、深さ0～80km)

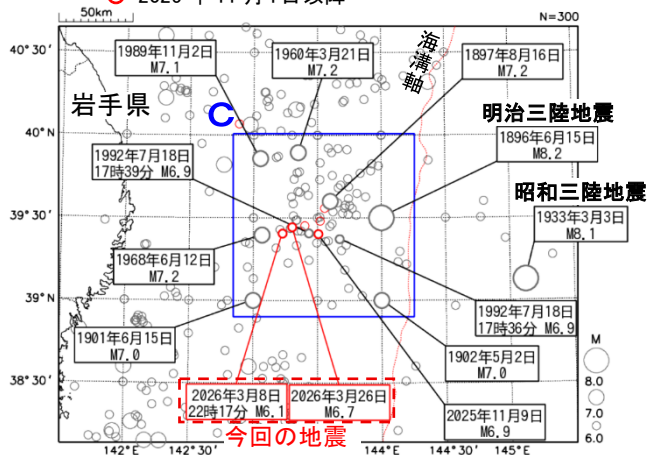
## 領域a内の断面図(A-B投影)



## 震央分布図

(1885年1月1日～2026年3月31日、  
深さ0～90km、M $\geq$ 6.0)

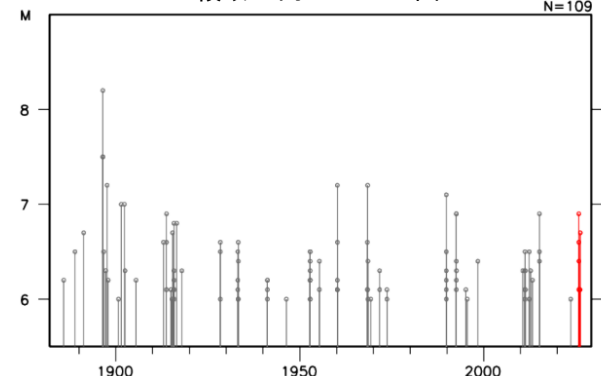
○ 1885年1月1日～2025年10月31日  
● 2025年11月1日以降



震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津(2001)、宇津(1982, 1985)による。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1896年6月15日にはM8.2の地震(明治三陸地震)が発生し、死者21,959人などの甚大な被害となった(被害は「日本被害地震総覧」による)。

## 領域c内のM-T図



宇津徳治(1982):日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表:1885年～1980年,震研彙報,56,401-463.

宇津徳治(1985):日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表:1885年～1980年(訂正と追加),震研彙報,60,639-642.

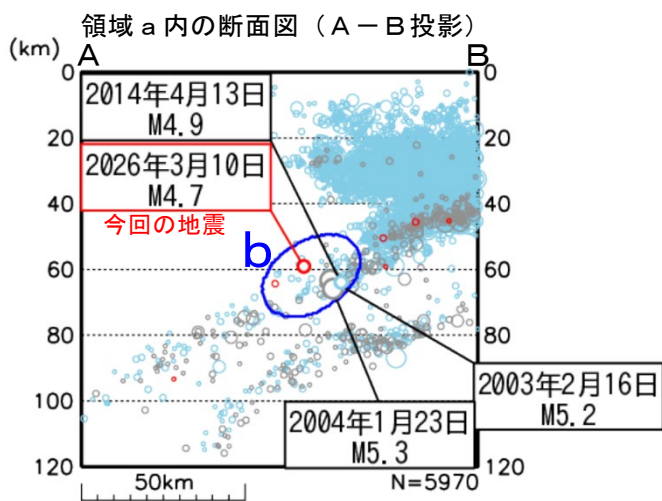
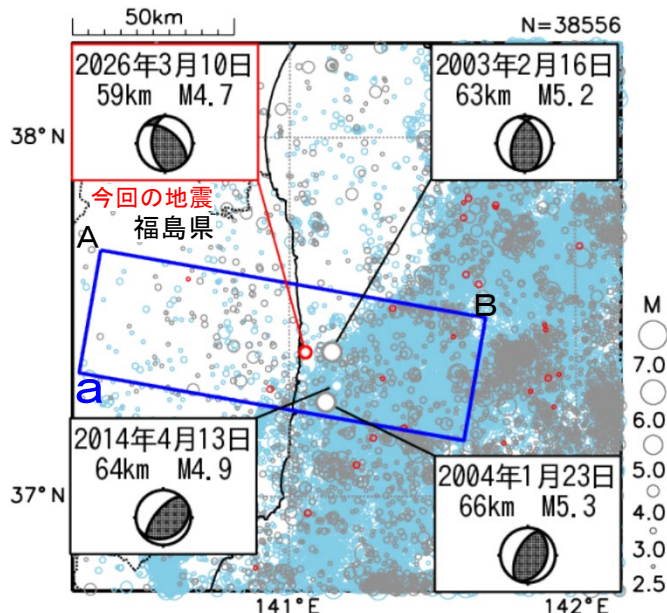
茅野一郎・宇津徳治(2001):日本の主な地震の表,「地震の事典」第2版,朝倉書店,657pp.

気象庁作成

# 3月10日 福島県沖の地震

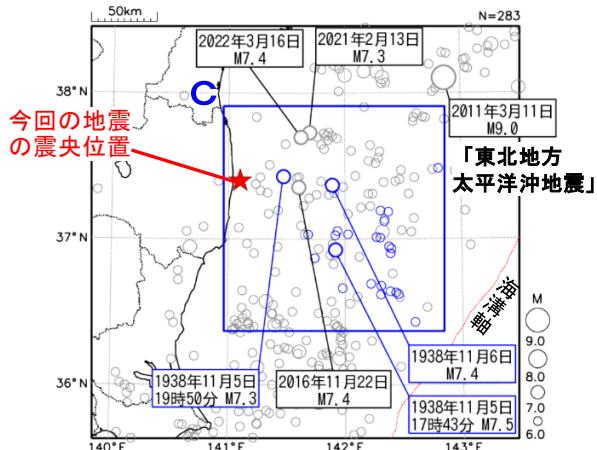
震央分布図  
(1997年10月1日～2026年3月31日、  
深さ0～120km、M≥2.5)

○1997年10月1日～2011年2月28日  
○2011年3月1日～2026年2月28日 ○2026年3月1日以降  
図中の発震機構はCMT解を示す



震央分布図  
(1919年1月1日～2026年3月31日、  
深さ0～100km、M≥6.0)

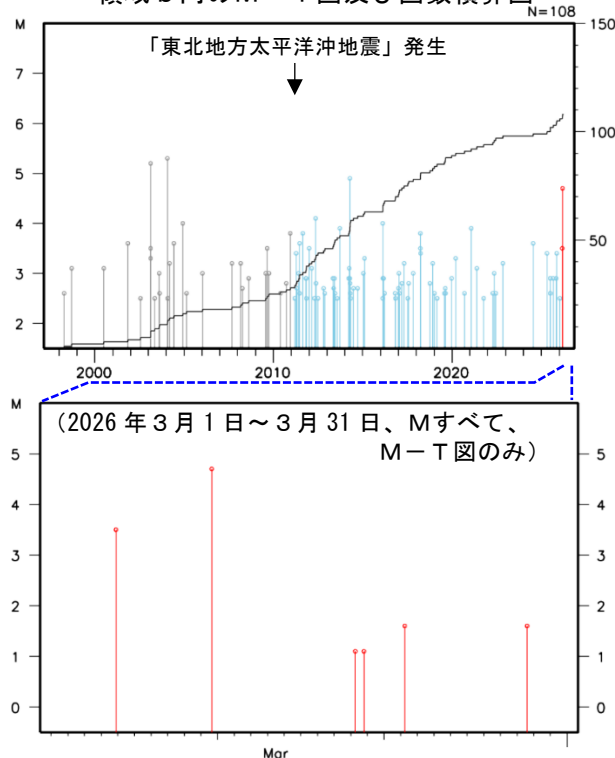
○1938年11月1日～1938年11月30日 ○左記以外の期間



2026年3月10日15時28分に福島県沖の深さ59kmでM4.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)以降、地震活動が活発となっており、M4.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)ではM7.0以上の地震が時々発生している。1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震(最大震度5)が発生し、宮城県花巻で113cm(全振幅)の津波を観測した。この地震後約1か月間にわたりM6.0以上の地震が増加するなど、地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

